

(最終更新日 令和元年7月)

更新（正誤）情報

○第1章 標本設計の概説

2ページ 下から4行目（平成31年2月更新）

誤：従業上の地位により各調査区を分類した層化基準（第2章第4節）を作成し、

正：従業上の地位により各調査区を分類した層化基準（第2章第3節）を作成し、

11ページ 上から6行目（令和元年7月更新）

誤：先に算出した線形推定値について、

正：先に算出した線型推定値について、

○第3章 結果の推定の実務

29ページ 脚注（令和元年7月更新）

誤：従業上の地位・雇用形態不詳

正：従業上の地位不詳

誤：※「就業者」は、「役員を除く雇用者」と「従業上の地位・雇用形態不詳」を含む

正：※「就業者」は、「役員を除く雇用者」と「従業上の地位不詳」を含む

○第4章 標本誤差の測定

32ページ 表4-1（平成31年2月更新）

誤：表4-1 全国の主な項目の月別結果数値の標本誤差

正：表4-1 全国の主な項目の年平均結果数値の標本誤差（平成29年）

誤：自営業者

正：自営業主

誤：注1) 本表の標準誤差，標準誤差率及び結果数値の大きさは，平成29年1月～12月の各月について計算したものを単純平均したものである。

正：[脚注削除]

○付録10 線型推定値及び比推定値の計算例

52ページ 下から3行目（平成30年6月更新）

前： r_{hij} ：第h地域，第i層，第j標本調査区の修正倍率（調査区の分割など）

後： r_{hij} ：第h地域，第i層，第j標本調査区の修正倍率（調査区の分割など。 $0 < r_{hij} \leq 2$ ）